

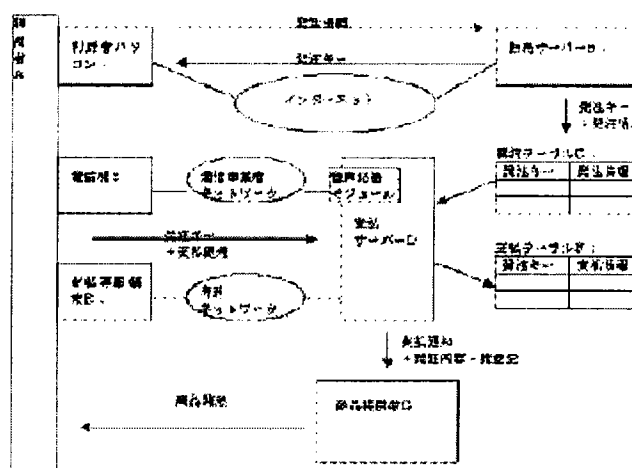
SAFE SELLING/ACCOUNT SETTLING METHOD FOR INTERNET

Patent number: JP2001117981
Publication date: 2001-04-27
Inventor: KAWAOMO TATSURO
Applicant: KAWAOMO TATSURO
Classification:
 - international: **G06F13/00; G07F17/40; G06F13/00; G07F17/00;**
 (IPC1-7): G06F17/60; G06F13/00; G07F17/40
 - european:
Application number: JP19990295530 19991018
Priority number(s): JP19990295530 19991018

Report a data error here

Abstract of JP2001117981

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a much safer account settling method in the case of risky selling on a computer network such as Internet. **SOLUTION:** A user A accesses a selling server B connected to the Internet and sends information on an article to order and the destination to send. In the selling server B, these contents are recorded on an order table C and an order key strung to these contents is generated and reported to the user. While using a response server D capable of payment of a call tariff adding service while using the order key or terminal (or software) E capable of direct payment while using the order key, the user A performs account settling processing together with the order key received from the selling server. Thus, selling on the Internet is possible without making the information of a card number flow onto the Internet.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-117981

(P2001-117981A)

(43) 公開日 平成13年4月27日 (2001.4.27)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	データコード* (参考)	
G 0 6 F 17/60		C 0 6 F 13/00	3 5 5	5 B 0 4 9
	13/00	C 0 7 F 17/40		5 B 0 5 5
	19/00	C 0 6 F 15/21	3 3 0	5 B 0 8 9
G 0 7 F 17/40			3 4 0 A	
		15/30		L
審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 5 頁) 最終頁に続く				

(21) 出願番号 特願平11-295530

(22) 出願日 平成11年10月18日 (1999.10.18)

(71) 出願人 399038491

河面 達郎

埼玉県草加市瀬崎町1302番地 8-405

(72) 発明者 河面 達郎

埼玉県草加市瀬崎町1302番地 8-405

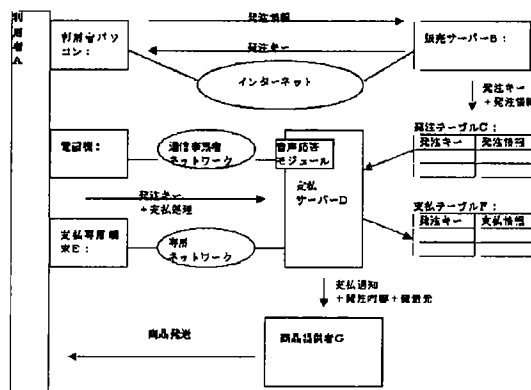
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 インターネットにおける安全な販売・清算方法

(57) 【要約】

【課題】 危険といわれるインターネットなどのコンピュータネットワーク上での販売において、より安全な決済方法を提供すること。

【解決手段】 利用者Aはインターネットに接続された販売サーバBにアクセスし、発注する商品及び送付先の情報を送る。販売サーバBでは、この内容を発注テーブルCに記録すると共に、これに紐づけられた発注キーを生成し、利用者に通知する。発注キーをつかって、電話料金加算サービスでの支払いが可能な応答サーバD、或いは発注キーをつかって、直接支払いの可能な端末（あるいはソフトウェア）Eをつかって、利用者Aは、販売サーバから受け取った発注キーとともに清算処理を行なう。これによりインターネット上にカード番号の情報を流すことなく、インターネットでの販売がおこなえる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 インターネットにおける販売・清算において、利用者（購入者）はインターネットを介して販売サーバーに、必要な商品及びその送付先を発注情報として送信し、販売サーバーは、発注情報を発注テーブルに記録すると共に、これに紐づけられたユニークな発注キーを整理番号とパスワード情報を組みにした数桁の数字として生成して、利用者に通知し、利用者は発注キーをつかって、請求項2が示すところの電話料金加算型サービスを利用した応答システムや、請求項3が示すところの支払い専用端末をもちいて、支払い処理を行なう、利用者がクレジットカード番号をインターネット上に流す必要がなく、購入にあたっての会員登録などの面倒な作業も必要とせず、利用者のコンピュータに専用ソフトを導入する必要もないことを特徴とするインターネットでの販売清算方法。

【請求項2】 通信事業者等の電話料金加算型課金サービス（特開平9-214640を参照）を利用した、請求項1の販売方法における支払処理を行なう支払サーバーにおいて、交換機によって利用者と接続されると、利用者に発注キーの入力を求める音声アナウンスを流し、利用者から送られた発注キーをもとに、請求項1の示すところの発注テーブルから商品情報・合計価格等の情報を読み取り、音声アナウンスで通知するとともに、支払承認を求めるアナウンスを音声で行ない、利用者が承認をすると、支払いテーブルの発注キーに対応する部分へ、支払情報の書き込みをおこない、発注商品を提供する商品提供者に対して、商品送付先・注文商品情報を通知する、請求項1の発注キーによる支払応答を行なう機能を有するコンピュータプログラム。

【請求項3】 請求項1の販売方法における支払処理を行なうコンピュータ端末機において、発注キーを入力すると、請求項1の示すところの発注テーブルから商品情報・合計価格等の情報を読み取り、画面に表示（あるいは、音声アナウンス）し、支払い完了を示す入力により、支払いテーブルの発注キーに対応する部分へ、支払情報の書き込みをおこない、発注商品を提供する商品提供者に対して、商品送付先・注文商品情報を通知する、請求項1の発注キーによる支払処理を行なう機能を有するコンピュータプログラム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、インターネットをつかった、オンライン販売および決済に関する。

【0002】

【従来の技術】 カードをつかった決済をインターネット上で行なうことに対する精神的抵抗は大きい。セキュリティ技術が発達しても、それを破る技術も同様に発達し、インターネットにおけるセキュリティは充分とはいえない。インターネットでのカード決済においての不

安感は、「カード番号をインターネットに流す点」にあり、カード番号を盗聴されたり、カード決済をするサイトそのものの信頼性も問題であり、カード番号を悪用される危険があるからである。

【0003】 この点を解決した方法としては、インターネットショッピングで利用できるプリペイドカードや、アメリカでの900番ダイヤルをつかった料金回収方法がある。

【0004】 プリペイドカードの場合、あらかじめ3000円や5000円などといった単位でのカードを購入する必要があり、購入商品ちょうどの決済ができない問題がある。

【0005】 また、アメリカでは、900番ダイヤル（電話料金加算型サービス）での支払もあるが、これは、インターネットでの支払処理時に900番への電話コールを行なうものであるが、通常インターネットに接続している人は、当の電話線をプロバイダに接続して利用しているため、この接続を一旦切る操作を行なう必要がある。これらの煩雑な動作を少しでも緩和するため、利用者のコンピュータに専用ソフトウェアを導入しているが、クライアント側にソフトウェアをいれることは利用者のコンピュータに負担をかけることになる。

また、同様のサービスが増えれば、これらを利用したい利用者はそれだけ、各社のソフトを自分のマシンにいれる必要がある。できれば、専用ソフトをいれずにすむほうが良い。

【0006】 電子財布といった方法も、利用者のパソコンに専用ソフトを導入するため、上記サービスと同じ負担を強いるものである。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】 インターネット上での販売・決済において、利用者がクレジットカード番号をインターネットに流すことなく買い物ができ、支払いにおいてプリペイドカードのような余計な金額を必要とせず、専用ソフトなどを利用者のパソコンに導入する必要のない、安全で便利な販売・決済方法を提供すること。

【0008】

【課題を解決するための手段】 利用者A（購入者）はインターネットを介して販売サーバーBに、必要な商品及びその送付先（電子メールアドレスや住所等）を発注情報として送信する。販売サーバーBは、発注情報を発注テーブルCに記録すると共に、これに紐づけられたユニークな発注キーを発注処理の受信確認とともに、利用者Aに通知する。発注キーは、整理番号とパスワード情報を組みにした数桁の数字であり、パスワード情報を含ませるのは、他人が発注キーを容易に生成し、注文内容の覗き見を防ぐためである。利用者Aは、発注キーを書き移すか、発注キーが表示された内容を印刷するなどして、転記する。電子メールアドレスを指定されている

場合は、確認の意味で、販売サーバーBは発注キーをメールで通知することもできる。

【0009】利用者Aは発注キーを受け取ったのち、発注キーによる電話料金加算サービスでの支払いが可能な支払サーバーD、或いは発注キーによる、直接支払いの可能な支払専用端末（あるいはコンピューターソフトウェア）Eをつかって、支払い処理を行なう。

【0010】電話料金加算型サービスを用いる場合、利用者Aが通信事業者による電話料金加算型サービスの電話番号に電話すると、交換機によって支払サーバーDと利用者Aが接続される。支払サーバーDは、利用者に発注キーの入力を求める音声アナウンスを流し、発注キーの入力を待つ。利用者Aは、支払サーバーDのアナウンスに従い、発注キーを電話端末から送出する。支払サーバーDは、発注キーをもとに、発注テーブルCの中から、適合する発注情報（商品情報や合計価格等）を読み取り、これらの情報を音声アナウンスで利用者Aに通知するとともに、支払い承認を求める音声アナウンスを利用者Aに通知する。利用者Aが、支払を承認すると、支払サーバーDは、支払いテーブルの、発注キーに対応する場所へ、支払情報の書き込みを行ない、発注商品を提供する商品提供者Gに対して、商品送付先・注文商品情報を通知する。商品提供者Gは通知にしたがって、送付先への発送を行なう。商品提供者Gは、通信事業者から商品代金をうけとる。

【0011】直接支払いの可能な端末を用いる場合、利用者Aは、店舗のレジに行き、発注キーを店員に告げる。店員は、支払い専用の端末Eに、発注キーを入力する。支払端末Eは、発注テーブルCから、発注キーに対応する商品情報・合計価格等の情報を読み取り、画面に表示（あるいは、音声アナウンス）する。利用者Aは、これを確認し、レジでの支払を行なう。支払いは、店舗での通常の買い物と同じく、現金やカードで行なう。店舗であれば、支払いに関しての安心感があり、利用者の心理的抵抗も少ない。支払いが完了すると、店員は、支払端末Eに支払完了を入力する。支払端末Eは、支払い完了を示す入力により、支払いテーブルFの発注キーに対応する部分へ、支払情報の書き込みをおこない、発注商品を提供する商品提供者Gに対して、商品送付先・注文商品情報を通知する。商品提供者Gは通知にしたがって、送付先への発送を行なう。商品提供者Gは、店舗から商品代金をうけとり、代金の回収を行なう。

【0012】

【発明の実施例】図1は、本発明の実施例である。Aは利用者、Bは販売サーバー、Cは発注テーブル、Dは支払サーバー、Eは支払専用端末、Fは支払いテーブル、Gは商品提供者である。

【0013】利用者A（購入者）はWWWブラウザーなどを使い、インターネットを介して販売サーバーBに、

必要な商品及びその送付先（電子メールアドレスや住所等）を発注情報として送信する。販売サーバーBは、データベース等で構築された発注テーブルCに、発注情報及び、これに紐づけられたユニークな発注キーを格納する。発注キーは、整理番号とパスワード情報を組みにした数桁の数字であり、パスワード情報を含ませるのは、他人が発注キーを容易に生成し、注文内容の覗き見を防ぐためである。また、数字だけの羅列で生成することにより、電話機をつかった支払いサービスや、POSシステムのようなレジにおいての入力が可能である。販売サーバーBは、発注テーブルCへの書き込みを終えると、利用者Aに発注キーを通知する。WWWブラウザー内の画面にて、発注ボタンを押したときのレスポンスとして、発注キー、および支払方法の詳細説明等を表示するのが便利であろう。また、電子メールアドレスを記入させている場合であれば、確認のため、このアドレスに発注キーをおくこともできる。利用者Aは、発注キーを書き移すか、発注キーが表示された内容を印刷するなどして、転記する。

【0014】利用者Aは発注キーを受け取ったのち、発注キーによる電話料金加算サービスでの支払いが可能な応答サーバーD、或いは発注キーによる、直接支払いの可能な専用端末（あるいはコンピューターソフトウェア）Eをつかって、支払い処理を行なう。

【0015】電話料金加算型サービスを用いる場合、利用者Aが通信事業者による電話料金加算型サービスの電話番号に電話すると、交換機によって支払サーバーDと利用者Aが接続される。支払サーバーDは、利用者に発注キーの入力を求める音声アナウンスを流し、発注キーの入力を待つ。利用者Aは、支払サーバーDのアナウンスに従い、発注キーを電話端末から送出する。支払サーバーDは、発注キーをもとに、発注テーブルCの中から、適合する発注情報（商品情報や合計価格等）を読み取り、これらの情報を音声アナウンスで利用者Aに通知するとともに、支払い承認を求める音声アナウンスを利用者Aに通知する。例えば、発注内容が“xx xパソコン、3台、一台10万円”の場合、音声アナウンスによって、“xx xパソコン を 3台お買い上げですね。合計30万円になります。支払い処理を行ないますか？よろしければシャープを押してください”と、利用者Aに告げる。利用者Aは、支払を承認する場合は、電話機のシャープを押す、承認しない場合は、そのまま電話をオンフックする。あくまで、支払承認の方法については、通信事業者の電話料金加算型サービス仕様に依存するものである。

【0016】支払いが承認されると、支払サーバーDは、支払いテーブルFの、発注キーに対応する場所へ、支払情報の書き込みを行ない、発注商品を提供する商品提供者Gに対して、商品送付先・注文商品情報を通知する。商品提供者Gは通知にしたがって、送付先への発

送を行なう。通信事業者は利用者からの代金回収を行なうとともに、商品提供者Gに商品代金を送る。

【0017】直接支払いの可能な端末を用いる場合、利用者Aは、店舗のレジに行き、発注キーを店員に告げる。店員は、支払い専用の端末Eに、発注キーを入力する。支払端末Eは、発注テーブルCから、発注キーに対応する商品情報・合計価格等の情報を読み取り、画面に表示（あるいは、音声アナウンス）する。利用者Aは、これを確認し、レジでの支払を行なう。支払いは、店舗での通常の買い物と同じく、現金やカードで行なう。店舗であれば、支払いについての安心感があり、利用者の心理的抵抗も少ない。

【0018】支払いが完了すると、店員は、支払端末Eに支払完了を入力する。支払端末Eは、支払い完了を示す入力により、支払いテーブルFの発注キーに対応する部分へ、支払情報の書き込みをおこない、発注商品を提供する商品提供者Gに対して、商品送付先・注文商品情報を通知する。商品提供者Gは通知にしたがって、送付先への発送を行なう。商品提供者Gは、店舗から商

品代金をうけとり、代金の回収を行なう。

【0019】この支払処理と同等の機能を、銀行や郵便局のATM等に、組み込めば、無人での支払処理が可能になり、さらに利便性が高まる。

【0020】

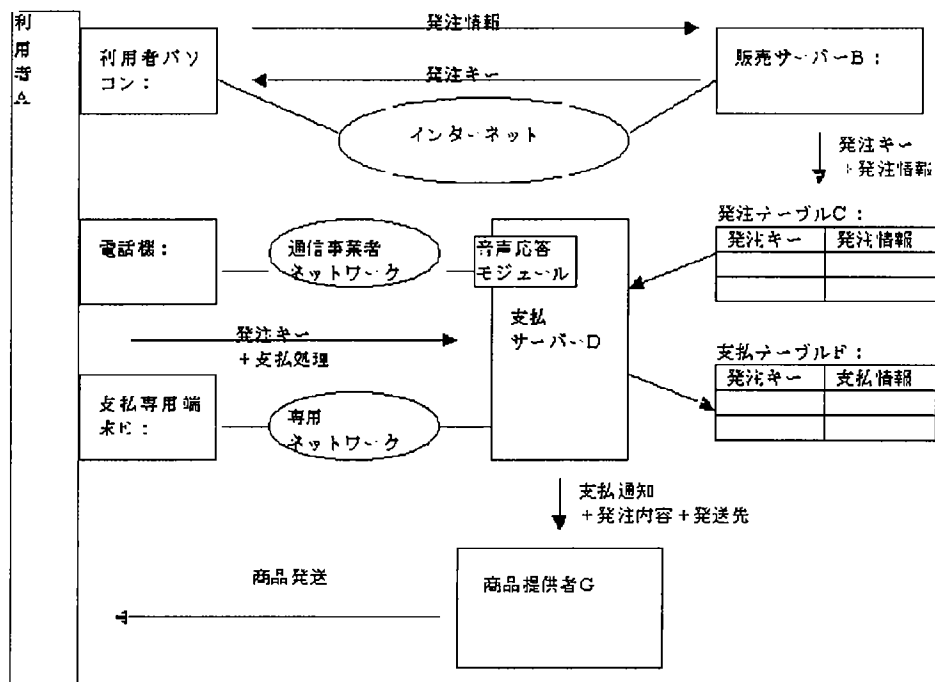
【発明の効果】本発明によって、インターネット上での販売・決済において、利用者がクレジットカード番号をインターネットに流すことなく買い物ができ、支払いにおいてプリペイドカードのような余計な金額を必要とせず、専用ソフトなどを利用者のパソコンに導入する必要のない、安全で便利な販売・決済方法が提供される。

【0021】特に利用者にとっては、発注キーのみをもって、安全かつ便利と思われる方法をもって支払い処理を行なえるため、便利であるとともに、店舗やATMなどを利用することで、安心感がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本システムの実施例。

【図1】



フロントページの続き

(51)Int. Cl. 7

識別記号

F I
G 0 6 F 15/30

(参考)

A
M

F ターム(参考) 5B049 BB11 BB46 CC05 CC37 CC39
DD04 EE02 EE05 FF03 FF04
FF06 GG01 GG04 GG05 GG07
5B055 BB03 BB10 CB09 EE02 EE03
EE04 EE12 EE21 EE27 FB03
JJ05 KK01 KK09 MM04 PA05
PA11 PA22 PA34
5B089 GA11 GA21 GA23 HA10 JA08
JA40 JB22 KA15 KA17 KB12
KB13 KC15 KC47 LB12 LB13
LB14